

令和7年度出土文化財企画展

みのりを支えた道具たち

開催期間 令和8年1月17日（土）～3月2日（月）

現在に至るまで日本の歴史は米の存在を抜きにしては語れず、東広島市においても弥生時代以降、稲作の普及とともに西条盆地を中心に入人口が増加しました。今回の企画展は、今なお県内有数の穀倉地帯である東広島市の古代の「みのり」を支えた農具や炊飯具などに焦点を当て、その歴史を紹介します。



弥生時代 石包丁（高屋町）



中世 内耳鍋（八本松町）



弥生時代 瓢（西条町）



古墳時代 飯（高屋町）

入館料：無料

開催期間・会場

第1期 令和8年1月17日（土）～2月19日（木）

会場：東広島市出土文化財管理センター・展示室

時間：午前9時から午後4時30分（入館は午後4時まで）

※土曜・祝日は開館、ただし日曜休館

第2期 令和8年2月25日（水）～3月2日（月）

会場：東広島芸術文化ホールくらら・市民ギャラリー

時間：午前10時から午後6時

企画展詳細はこちらから→



石包丁を作ってみよう！ワークショップ開催！
詳しくはホームページをご覧ください。



ワークショップ開催日
令和8年1月24日（土）、2月14日（土）
各日午前、午後の部の1日2回